



今月のテーマ「ヴィン・ブルレー(ホットワイン)」



材料(4人分)

- フルボディの赤ワイン 1ℓ
(ノンアルコール:りんごジュースで代用可)
- 砂糖 100g
- レモンの皮 1個分
- オレンジの皮 1個分
- シナモンスティック 2本
- チョウジ 8個
- スターアニス(八角) 1個
- ナツメグ 小さじ1/2杯
- りんご(小) 1個
- しょうが(任意) 適量

ヴィン・ブルレー(ホットワイン)は温かくてスパイシーな飲み物です。発祥は古代ローマですが、イタリア北部の山地では今も大人気です。寒い冬に体を温められるように生まれたもので、咳や喉の痛みを和らげるのにも有効だといわれています。これからの季節に備えて作ってみてはいかがでしょうか？

作り方

- ①レモンとオレンジをよく洗って、皮の部分を切り分けるように皮だけをピーラーで薄く切り取ります。
 - ②りんごを洗って、細くスライスします。
 - ③焦げつきにくい鉄の鍋に砂糖、スパイス、スライスしたりんごと①で切った皮を入れ、赤ワイン(またはりんごジュース)を注ぎます。
 - ④沸騰しないように注意しながら弱火で10分ぐらい煮て、かき混ぜながら砂糖が完全に溶けるのを待ちます。
- ☆赤ワインを使用した場合、火をつけた竹串などで液体の表面に火をつけ、アルコールを飛ばすこともできます。火は自然に消えるまで待ちます。(※やけどに注意！)
- ⑤できたヴィン・ブルレーをふるいでこして、熱いうちにいただきます。
- ※冷蔵庫で2～3日保存できます。
※ワインのアルコールを飛ばしても、少し残ることがあります。

深江埋蔵文化財・噴火災害資料館企画展 ～出張！口之津歴史民俗資料館～



「戦地から帰還できなかった友へ」

口之津歴史民俗資料館に収蔵されている歴史資料を、期間限定で出張展示します。8月6日の広島、9日の長崎への原爆投下、15日の終戦日には市内で戦没者のために黙とうを捧げました。日本には出征していた兵士の手紙が数多く残っています。母親に宛てたものや特攻隊として最後に残した遺書など、戦争に赴いた人たちの想いがつまった貴重な史料です。口之津歴史民俗資料館にも多く所蔵されています。今回、展示している史料(左写真)は日露戦争(1904～1905)の時、満州へ出征していた口之津の兵士の手紙です。戦地からの帰還直前に亡くなった戦友への想いがつづられています。ぜひ資料館へ足を運んで手紙を読んでみてはいかがでしょうか。

開催期間 **10月1日(木)～11月30日(月)**

※史料の劣化を防ぐため実物史料の展示は10月1日(木)～15日(木)まで

●観覧時間…午前9時～午後5時
(入館は午後4時30分まで)

●休館日…毎週火曜日

会場 **深江埋蔵文化財・噴火災害資料館**

料一般…200円／高校生…150円／中学生以下…100円

※常設展も観覧できます。

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、入場制限を行う場合があります。

図文化財課 ☎73-6705

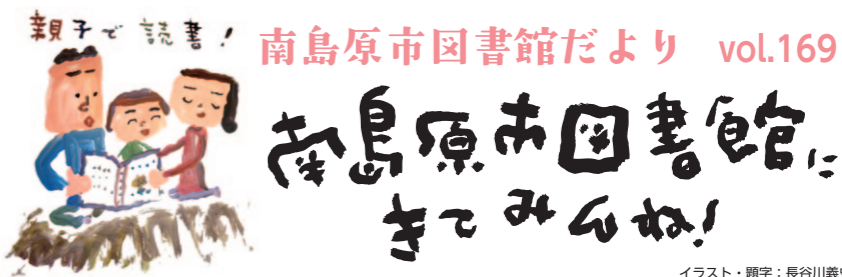
【お問い合わせ】

☎73-〔各図書館下4桁〕

- ・深江図書館…6717
- ・有家図書館…6737
- ・北有馬図書室…6754
- ・口之津図書館…6777
- ・布津図書室…6726
- ・西有家図書館…6747
- ・原城図書館…6767
- ・加津佐図書館…6787

*詳しいことは、館内ポスターや各図書館でご確認ください。

南島原市図書館 検索



イラスト・題字：長谷川義史

加津佐図書館 原城図書館 西有家図書館

読書週間企画「ウォーリー」展示

10月6日(火)～
11日8日(日)
の開館日



赤と白のボーダーシャツが目印の『ウォーリー』。一度は目にしたことがあるのではないのでしょうか。視覚探索絵本の先駆けとなった『ウォーリーをさがせ!』シリーズは、世界38カ国、30言語で出版され、初版から30年以上たった今も人気のベストセラーシリーズです。

図書館には、読んで遊んで楽しめる絵本もたくさんありますよ!

第74回 読書週間「ラストページまで駆け抜けて」

10月27日(火)～11月9日(月) 読書の秋
読書週間ってな～に?



終戦の2年後の1947(昭和22)年、まだ戦争の傷あとが日本中のあちこちに残っているとき、「読書の力によって、平和な文化国家をつくろう」と、出版社・取次会社・書店と図書館が力を合わせ、新聞やマスコミも一緒になり、第1回「読書週間」が開かれました。第1回「読書週間」は11月17日から23日でした。これはアメリカの「チルドレンズ・ブック・ウィーク」が11月16日から1週間であるのにならったものです。各地で講演会や本に関する展示会が開かれたり、読書運動を紹介する番組が作られたりしました。現在の読書週間の期間(10月27日～11月9日)になったのは、第2回からです。それから70年、「読書週間」は日本中に広がり、日本は世界の中でも特に「本を読む国民」の国となりました。今年の「読書週間」が、皆さんに読書のすばらしさを知ってもらうきっかけとなりますように。

加津佐図書館

- 秋の読書週間
「本の福袋」「小さな窓から」
☎10月1日(木)～11月30日(月)
対象 大人、幼児

北有馬図書室

- 工作教室「ハロウィンをモバイルでたのしもう」
☎10月11日(日) 午後2時～4時
対象 8人(要申込)
対象 小学生以上
*詳細は各図書館へお問い合わせください。

各図書館行事とお知らせ

口之津図書館

- 100歳まで歩ける身体づくり教室
「筋力+可動域+運動神経」をバランスよく鍛えながら、楽しく元気になるトレーニング法を紹介します。
☎10月24日(土) 午後1時30分～3時
対象 15人(要申込)
対象 40～70歳代
・講師…高橋 利広氏
・持参品…ヨガマットまたはバスタオル
※健康づくりポイント対象事業

- 秋の読書週間
花種のプレゼント!
日頃の感謝と新型コロナウイルスの終息を願い、口之津図書館で本を借りた人に花の種を配付します。各家庭で元気な花を咲かせてください!
☎10月1日(木)～11月8日(日)
※無くなり次第終了

実用書



全職員が定時で帰る
スクーリングリーダーの職員室革命
中村 浩一 / 作
明治図書出版 / 出版

全員一斉に定時で帰るのではなく、それぞれが定時で帰る日は設定する。ある小学校の教頭が導入した具体的な「意識改革」と「業務改革」は、月80時間以上の時間外労働者ゼロを達成していった。本書では短い章立てで働き方改革を進めるためのマイルドセットと具体的な実践例を紹介しており、職員室だけでなく幅広い職場で参考にできる1冊です。

仲良く暮らす、あか・きいろ。あおの色たち。ある日突然、自分たちこそ最高だと主張したり、知らん顔をしたりして住み分けを始めてしまう。そんな中、「ひとりのきいろ」と「ひとりのあお」が出会い、「みどり」が生まれ…。多様な現代で共に生きること、色を通して語りかける一冊。

図書館員オススメの本

絵本

まごっちゃんおう!

